

まだらの風



令和6年6月18日
学校便り No.6
校長 原口 真

『 見つけよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、高めよう馬渡の力 』
～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～

九州北部の梅雨入りが発表された翌朝の空です。雲の表情があまりにも豊かでしばし見惚れてしまうほどでした。6月8日(土)の唐津市教育の日には授業参観、学校評議員会、SNS 講話、AED 講習、育友会ミニバレー大会、懇親会と保護者様・地域の方にはたくさんご参加いただきありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。

親子で交流、ふれあい道徳～SNS は心の隙間に用心！

唐津市教育の日、授業参観では保護者のみなさんに参加していただく「ふれあい道徳」を行い、ミニゲームやお手紙、ドラえもんのエピソード等を用いて親子で交流する授業を行いました。学校評議員の富永さん、牧山さんにも、タブレットや電子黒板等の ICT を活用して学ぶ子どもの様子を見ていただきました。また、唐ワンくんも学習や昼遊び、午後の講習に参加してくれました。SNS 講話では、講師の方から身近なスマホの使用からネット依存症やいじめにつながるケースがあること、SNS のつながりからの「誘い出し・なりすまし」に注意するために心にスキをつくらないことが大切だとお話がありました。



命を救え！AED講習

プールの授業開始を前に、唐津消防署北部分署から2名の署員さんに来ていただき、救急救命講習（AED講習）を行い、児童生徒全員が心臓マッサージからAED使用の流れを確認しました。田尻のプールまでは学校や診療所から距離があるため、もしもの時にはその場にいる人が、呼吸の確認、119要請、胸骨圧迫、人工呼吸、AED処置をすみやかに行う必要があります。馬渡小中学校玄関と田尻プール内にもAEDを設置していますので保護者様・地域の方もぜひ確認されておいてください。



戦争体験を学ぶ～戦争は身近なところに

6月3日(月)老人憩の家を訪問して、戦争体験について高野さん、古川さんにインタビューさせていただきました。戦時中、馬渡島に海軍、陸軍それぞれの駐屯地があったこと、空襲警報が何回も鳴ってその度にせまい防空壕に隠れていたこと、大山のあたりで飛行機が墜落したこと、食糧が乏しくてイモはおごちそうだったこと、鉄類の供出のため聖母教会の鐘(フランス製)も持って行かれたこと等、モノに不自由なく平和なこの時代に生まれた使徒たちには驚くことばかりのお話でした。インタビューした内容は、7月の平和集会で改めて発表する予定です。



自転車の安全についてKYT（危険予知トレーニング）

少し前のことになりますが5月24日(金)に唐津警察署から交通課指導係の署員さんとパト郎さんをお招きし交通安全教室を実施しました。自転車の安全について危険予知トレーニングをする中で指導されたこととして、①安全確認は目と耳で、②ブレーキは左から(右からかけると転倒するおそれ)、③大きな標識がある所は大きな事故(重大事故・死亡事故など)があった場所、④自転車も加害者になると損害賠償が発生することなど具体的な指導がありました。



本校卒業生で、島外で大工をされている野中さんから寄付の申し出があり、プラガーデンレーキ、塵取り、雑巾セットなどをいただきました。学校の環境整備に活用させていただきます。ご支援どうもありがとうございました。